

29. こどもとお年寄りを中心とした地域世代間交流

グループ名 八田ふれあいプロジェクト

代表者 清水俊郎

① 活動の目的

- ・住民交流で顔見知りを増やし、安全、安心の地域づくり。
- ・高齢者と子どもたちの交流を通じ、各世代間の交流拡大。
- ・日常の見守り、声掛けに繋げる。

② 活動概要

- ・ハロウィンイベントで、普段交流のないお年寄りのお宅を子どもたち、保護者やボランティアが訪問し、プレゼントの交換を行う。このイベントを機会に、登下校時の声掛け、見守りに繋がる。また、地域へイベントの周知を行うことでお年寄りや子どもたちばかりでなく、各世代間の交流へ繋がる活動を行った。

※ 詳細別紙にて報告します。

③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	100,000円
支 出	お年寄りへのプレゼント	20,263円
	子どものハロウィングッズ	6,588円
	子どもへの菓子	22,026円
	飲み物代（訪問後の子どもを含めた反省会）	8,928円
	ハガキ代、プレゼントラッピング材料他	5,222円
	リーフレットデザイン料（謝礼）	5,000円
	リーフレット用紙代	7,344円
	リーフレット新聞折込代	6,550円
	ベスト（八田ふれあいプロジェクト目印用）	28,496円
	合 計	114,929円

平成30年度シニアボランティア活動助成事業 実績報告

グループ名 八田ふれあいプロジェクト

助成事業名 第3回ふれあい広場南八

「おじいちゃん、おばあちゃんと子どもたちのハロウィン」

後援 南アルプス市社会福祉協議会

協力 南アルプス市立八田小学校

八田地区自治会連合会

八田地区民生児童委員協議会

八田ふれあいの会（生活支援体制整備協議体）

事業実施日 平成30年11月11日（日）

※ 当初10月27日（土）に予定しておりましたが、地域のイベント等と重なるため、11月11日へ変更いたしました。

活動内容 山梨県南アルプス市八田地区（人口7,100人 世帯数2,600世帯）の
独居高齢者及び高齢者のみ世帯を子どもたちが訪問し、ハロウィンのプレゼント
交換し交流することで、お互いの気配りや、声掛けが日常の一部となることに
発展する。また、顔見知りとなったことで、登下校時の見守りや高齢者の生きが
いづくりに繋がることを期待し、この事業を実施した。

活動結果 当日の参加者は、お年寄り65名、子ども（小学生・未就学児）58名、付添
者79名の合計202名。八田6地区の参加者は次表の通り。

地 区	お年寄り	子ども	付添者
六科（むじな）	15	16	18
野牛島（やごしま）	9	9	13
上高砂（かみたかすな）	14	4	8
下高砂（しもたかすな）	6	79	13
徳永（とくなが）	7	5	6
榎原（えにきはら）	14	17	21
合計	65	58	79

参加者の感想 子どもたちからは、普段交流のお年寄りと知り合いになれたことや、自分の
住む地域を歩いたことで、新発見があった。

お年寄りからは、初めてのハロウインの経験だったが、子どもや保護者のみなさんと話ができてよかった。

付添者の方たちからは、子ども、お年寄り、そしてボランティアとして参加したみなさんと知り合いになれた。来年もこの事業を計画してほしいなどの意見をいただいた。

決算（収支）・プレゼントについては、ほぼ計画通りに進んだ。飲み物については、徒歩で1時間近くかかるので、子どもたちや付添者に提供することとなった。

- ・イベント告知等の印刷、新聞折込もほぼ計画通りとなった。

- ・ベストについては、協力者から、八田ふれあいプロジェクトのメンバーの目印になるものが必要との意見があり、急遽用意した。また、購入総額は60,500円だったが、約半額を個人負担とした。

御礼

この度は、貴財団の助成事業選定下さり、誠にありがとうございました。

お陰様を持ちまして、無事助成事業を終了いたしました。八田ふれあいプロジェクトの地域への認知度が広がりましたことに、目的外の効果が出たことに、今後の活動への明るい材料となりました。

今回の事業の目的でした、地域の世代間交流や高齢者や児童への気配り、声掛け等、参加者の口コによって、地域へ広がりをもせる第一歩となりました。

今後も活動を継続し、住んで良かったと、住民のみなさんが喜んで、共感してくれる活動を行ってまいります。

最後に、貴財団の益々のご発展をお祈りし、御礼とさせていただきます。

写真

プレゼント・菓子



菓子・ハロウィン訪問宅目印



プレゼントラッピング



プレゼント地区毎の仕分け



集合写真



徒歩にて地区巡回



高齢者宅訪問



高齢者宅訪問

